

第1号議案

平成26年度 事業報告

平成26年 4月 1日から

平成27年 3月31日まで

平成26年度の本会事業は、緑化産業が依然として厳しい状況に置かれている中、公益社団法人となって2年目の年度であったが、4つの公益事業と収益事業については役職員、会員あがりの取り組みにより初期の計画を達成することができた。

福岡県緑化センターの管理・運営については、新たなモデル庭園や花壇スペースの設置など施設の充実を図りながら、緑の教室などの講習会や各種イベントを実施し、緑についての体感、学習、普及を更に進める管理運営に努めた。

緑化に関する情報の収集、発信については、機関誌の刊行やホームページ、緑化木在庫表データの配布等により、会員並びに外部に対し広く本会の活動状況の周知やPRを図った。

生産委員会は、福岡県との共催で「ほ場品評会」、「出荷品評会」を開催し、緑化木生産技術の向上、生産の振興に大いに寄与した。その他、緑を考える会及び県・資源活用研究センター（旧森林林業技術センター）と協力してギンバイカの生産技術の開発に努め、また、県の地域特産物振興事業に協力し、ハゼ苗の生産にも取り組んだ。

造園委員会は、実技会場を久留米市植木農業協同組合内に移して「造園技能士検定」1級、2級の受検者を対象にした講習会を実施し、高い合格率を維持することができた。

福岡県シルバー人材センター連合会からの受託で実施している「シニアワークプログラム事業」は、高齢者の就業促進のための講習会であるが、県内各地で6回の樹木緑地管理講習会を実施した。さらに、新たに福岡市シルバー人材センターからの受託で「樹木管理技術者育成」講習会を2回実施した。

この他、緑を考える会の協力を得て実施した「私たち、子供たちのための緑のキャンペーン」事業は、嘉麻市立嘉穂小学校の校庭に、6年生児童と共に樹木と草本類を植栽し、緑の大切さについての普及啓発を図った。